

SDGs（循環型社会の構築）実現推進事業運営業務に係る委託仕様書

1 委託業務名

SDGs（循環型社会の構築）実現推進事業運営業務

2 事業の目的

SDGsにおいて「2030年までに、廃棄物の発生防止、削減、再生利用及び再利用により、廃棄物の発生を大幅に削減する。」ことが求められている。

産業廃棄物の3R（排出抑制、再利用及び再生利用）については、これまで排出事業者、処理業者及びリサイクル業者（以下「排出事業者等」という。）によりそれぞれ取り組まれてきたが、更なる3Rを推進するためには、排出事業者等が互いの利害を認識し、利害の調整や新たなリサイクル技術の開発などに、連携して取り組む必要がある。

そこで、排出事業者等による連携・協働の優良事例を紹介するとともに、連携の可能性等について、排出事業者と処理業者及びリサイクル業者が意見交換を行うセミナーを実施する。

3 事業の内容

(1) テーマ

平成29年末以降の中華人民共和国をはじめとする外国政府による輸入禁止措置により、国内処理が増加していることが課題となっている「廃プラスチック類のリサイクル推進」をテーマとする。

(2) 参加対象者

京都市内の排出事業者（製造業等の廃プラスチック類の排出事業者）24団体程度
処理業者及びリサイクル業者等 24団体程度

(3) 具体的内容

上記の「事業の目的」を実現するセミナーを1回開催（令和3年1月頃を予定）する。会場において開催することを基本とするが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大状況を踏まえ、開催方法や内容を再検討する場合がある。

【セミナーイメージ】（例）

ア 趣旨説明（20分程度）

「産業廃棄物のリサイクルの現状及び今後の展望について」等のテーマを設定した講義等により、セミナーの趣旨を説明。

イ 排出事業者等の連携・協働の優良事例の紹介（40分程度）

排出事業者等の連携・協働により行われる廃プラスチック類のリサイクルの優良事例について、企業から事例紹介

ウ ワークショップ（180分程度）

排出事業者等の各事業者が、3Rを進めるうえでの課題や3Rの展望などについて理解を深め、更なる3Rを推進するための連携・協働の在り方について気付きを得られるようなワークショップの実施。

現状の制約・立場に縛られずに、あるべき姿やできることを自由な発想で意見交換してもらう場とする。

【ワークショップイメージ】(例)

(ア) テーマ

連携により実現可能な3Rの取組

(イ) 実施方式

排出事業者の業種及び排出事業者等の人数のバランスを考慮して6グループ(1グループあたり排出事業者3～4団体、処理業者及びリサイクル業者等3～4団体)程度に分け、ワークショップを実施する。

参加予定者に対し、課題となっている事項を事前にアンケート調査し、各グループのテーマとする。

①排出事業者における廃棄物処理の現状(委託先の情報収集、処理委託先の決定における優先事項、分別などの排出状況)、②処理業者及びリサイクル業者における廃棄物処理及びリサイクルの現状、③排出事業者等の各事業者の視点から見た、更なるリサイクルの可能性や課題について、ファシリテーターがヒアリングを行い、出された意見を模造紙に掲示することで、各事業者の考え方への理解を深めるとともに、課題の解決方法を議論する。

エ 事後アンケートの実施

参加者に対し、今後の産業廃棄物の3Rの取組の参考とするため、アンケートを実施する。

オ 希望者による名刺交換会(30分程度)

4 業務期間

契約締結日から令和3年3月31日(水)まで

5 委託業務の内容

(1) 業務計画書の作成

事業全体の業務計画書を作成し、提出する(会場で開催する場合の新型コロナウイルス感染症対策、及び会場での開催が困難となった場合の代替策を含む)。

(2) 企画、運営

本市と協議しながら企画を行うとともに、事前準備(講師の選定及び依頼、日程調整、会場及び備品等確保、資料作成、参加者募集を含む)及び当日の運営を行う。新型コロナウイルス感染症の感染拡大状況により会場での開催が困難となった場合、代替策を実施する。

(3) 報告書の作成

摘録を含む報告書を作成し、提出する。

なお、当該事業の結果は、HP等により参加者以外の排出事業者等に情報提供する予定である。

6 その他

- (1) 本件業務の履行に当たっては、適宜、本市と協議すること。
- (2) 業務の進捗状況については、随時、本市に報告し、指示を受けること。
- (3) 受託者は、本件業務の履行によって知り得た秘密を第三者に漏らしてはならない。また、本件業務の履行によって得た成果を、本市の許可なく、他者に提供してはならない。
- (4) 本件業務の履行に伴い発生する経費（人件費、交通費、資料印刷費等）は、受託者の負担とする。

7 参考

環境省主催の類似事業 <https://www.env.go.jp/press/103863.html>